



留学、企業からの課題  
解決などさまざまなこと  
に挑戦し、英語力、人間力  
が鍛えられました!

2021年度卒業生 足立 七海さん  
(大分県立大分舞鶴高等学校出身)からのメッセージ  
(足立さんは、**リコー**株式会社 福岡支社営業職に就職しました。)



ミネソタ州立大学に留学しました。



留学していたときのルームメイトとの写真です。

4年前、私は行きたかった大学に合格できず初めて大きな挫折を経験し、複雑な気持ちで入学式に参加しました。しかし活水女子大学英語学科での4年間でさまざまなことに挑戦した今、私は**英語力だけでなく人間力も鍛えられた**と感じています。

挑戦の1つとして、**アメリカのミネソタ州立大学への留学**があります。アメリカ人ルームメイトとの共同生活、多国籍の学生との授業を通じて自分の実践的な英語力の無さを痛感すると共に、学びに対する向上心をより高められたと思います。また、授業外でも様々なコミュニティに参加することで多様な国籍の方々と繋がることもできたので、自分自身で考え小さなことでも行動し続けていく大切さを改めて学びました。

留学後も、日常の実践的な授業やオンライン留学に挑戦するなど英語力向上に努め続けたおかげで、**TOEICのスコアを200点伸ばす**ことができ入学時の目標を達成することができました。また、帰国後には1年時から在籍して



ミネソタ州立大学の授業のようすです。

いた**ホスピタリティ&ツーリズム研究会**の活動にも更に尽力しました。中でも、課題に対して一からチームで考え細部まで検討を重ねて発表した**日本航空様との活動**が印象に残っています。課題は、コロナ禍で日常的なサービスの中止という事態に対してどう対処するかというものでした。実践を交えた発表では、プロである現場の方々を目の前にした緊張感がありましたが、貴重な機会をいただき大変感謝しております。この活動を通して、改めて自分はこういった状況の中でもお客様の心に寄り添う気持ちを持って自ら考えて行動する人間になりたいと思いました。この研究会では、組織をまとめる難しさや自分の意見を発信する大切さなど多くのことを学び自分自身大きく成長することができたと思います。

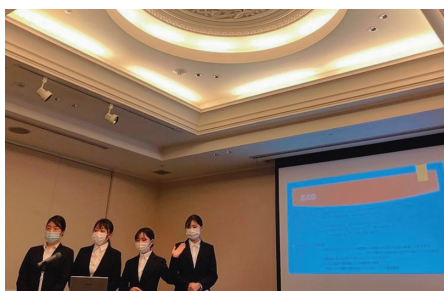
また、**就職活動**においてもこれまでの授業やサークル活動での多様な経験を生かすことができました。授業やサークル活動で英語・日本語双方でのプレゼンテーションや、自分の意見を発信することを多く経験してきたおかげで、就職活動においても臆することなく自分の言葉でお話することができました。コロナウイルスの影響で長年希望していた業界の採用が厳しく苦しい思いをしましたが、そのおかげで再度自分の将来について深く考え、新たな道を切り開くことができました。

この4年間で学んだことは、大切なのは何をするにも自分次第であり、**1つ1つの挑戦や経験が先の自分の未来に繋がっている**ということです。また、どれほど周囲の方々が私を支えてくださったかということです。

卒業後は、リコー日本の営業職として勤務します。活水で学んだことを活かしながら、また多くのことを吸収できると思います。これから仕事をする上で想像以上の困難や苦悩があると思いますが、私を応援し支え続けてくれている家族をはじめ、友人、英語学科の先生方、先輩方への感謝の気持ちを忘れずに挑戦し続けていきたいです。



ホストファーザーが娘のようにかわいがってくれました。



日本航空様からいただいた課題に取り組み、発表しました。



卒業式の日ゼミの先生と撮った写真です。



タイのダラサムット校での  
経験をおして、積極的に  
行動を起こし、人とかわる  
楽しさを学びました!

2021 年度卒業生 橋本 くるみさん  
(純心女子高等学校出身) からのメッセージ  
(橋本さんは、株式会社 マリークワント コスメチックスに就職しました。)



タイの伝統的な衣装を着て伝統の踊りを学ぶようす



タイの伝統的なフラワーアレンジメントを教わり、  
記念撮影をしました。

私が英語学科に入学を決めた理由は、英語を通してコミュニケーション能力を身につけ、就職活動の幅を広げるためでした。もともと英語が得意ではなかったため、不安と緊張を抱えての入学となりましたが、実際の講義は少人数制のクラスで先生方に質問しやすい環境が十分に整っていたため、確実な英語力上昇に繋がり、成長ができた実感しております。

私が学生生活の4年間で一番成長したと思う点は、積極的に行動を起こし、人と関わる楽しさを学べた点であると思います。そうように成長ができたのは、2年生の夏休みに参加した異文化理解演習の経験が大きく関わっております。2週間という短い期間ではありましたが、生涯忘れることのない大変貴重な経験でありました。

異文化理解演習のプログラムは、タイのダラサムット校に行き、現地で日本語を学んでいる高校生に日本語を教えるという内容でした。私はもともと引っ込み思案な性格で人前に立つことや積極的に行動することに苦手意識を持っていました。はじめは、タイという国に興味があったため参加を決めましたが、実際私自身が先生という立場で何かを教えるということに大きな不安を感じました。しかし、引率してくださった先生方や一緒に参加することとなった先輩や友人と共にとくさんの時間をかけて、試行錯誤を繰り返しながら準備を進めることで、段々と早く生徒たちと一緒に勉強したいと楽しみになりました。



ダラサムット校で受け持った授業のようす

実際に現地で生徒たちの前に立ち、授業を始めてみるとそれまでの緊張や不安が嘘のようになくなり、あっという間に授業を終えることができました。生徒たちが楽しんでくれていることが表情や動作から伝わってきて、全員が一体となる有意義な時間でありました。

この経験を通して、私は積極的に行動することに対する苦手意識が少なくなり、何か新しいことにチャレンジする楽しさや人と関わる喜びを感じるようになりました。帰国後の学生生活でも、周囲の人々との関わりを大切に何事にも積極的に取り組むことができたように私自身感じております。

私は卒業後、株式会社 マリークワント コスメチックスという会社の販売員として佐賀で勤務します。お客様の求めるサービスに私にできる限り精一杯の努力をしてお届けできるような温かい接客を意識して、多くの人との出会いを大切にしたいと思います。

新しい場所や環境に不安も多くありますが、失敗を恐れず活水女子大学で学んだことを活かして日々成長して参ります。

最後になりましたが、4年間ご指導して下さった先生方、日々支えてくれた友人や家族には感謝をしてもしきれません。今までありがとうございました。



ダラサムット校で受け持った授業のようす



英語学科の友人たちとの写真です。